

「互いに認めあい，助けあい，自ら進んで  
人とつながる心を育むための道徳授業のあり方」  
～ 「考え，議論する道徳」の授業実践を通して ～

## I 研究内容

### 1 研究内容

#### (1) 道徳科の授業に関わって

##### ○道徳科の授業実践と授業研究

- ・「考え，議論する道徳」を生かした授業の工夫
  - \*発問シート等，授業づくりの工夫
  - \*自我関与させるための手立ての工夫
- ・子どもの変化を見とる評価の工夫
  - \*児童の変容を見とるアンケートの実施
  - \*評価の観点の洗い出し

#### (2) 甲州市「確かな学力」育成プロジェクトに関わって

##### ○確かな学力を育成するための取り組みの継続

- ・Q-U 検査と K-13 法の実施 → 全職員での共通理解・子どもへのフィードバック
- ・家庭学習への取り組み                      ・あいさつ，学習規律に関する取り組み
- ・授業の構造化と授業改善（ティーチャーズノートの活用）
- ・アウト メディアに関わる取り組み

### 2 研究方法

- (1) 児童が主体的に学び合う授業の工夫・道徳の評価についての研修
- (2) 「確かな学力」育成プロジェクトに関わる取り組みの検討・実践
- (3) 講師を招いての師範授業の参観・理論研究
- (4) 授業研究会の実施
- (5) 一人一実践

### 3 具体定期的な取り組み

- (1) 実態把握
  - ・年間 2 回（5 月・2 月）の道徳に関する意識調査の実施
  - ・意識調査の分析による成果と課題の明確化

## (2) 評価に関する研究

- ・外部の研修会への参加・還流
- ・本校独自のポートフォリオの作成と、その活用

## (3) 家庭学習への取り組み

- ・学年の実態に応じた「スタンバイ学習」の導入
- ・「家庭学習振り返りの日」に合わせた家庭との連携
- ・管理職を含めた励ましのコメントの記入

## (4) 授業実践

### ア 研究授業

- ・第3学年 渡邊 皓 教諭 道徳科 「悪いのはわたしじゃない」  
※山下指導主事を招いての研究会を実施
- ・第4学年 小野 敬久 教諭 道徳科 「泣いている女の子」  
※中村指導主事を招いての研究会を実施

### イ 授業公開

- ・第1学年 中村 悦子 教諭 道徳科 「ねずみくんの きもち」
- ・第2学年 高石 恵子 教諭 道徳科 「およげない りすさん」
- ・第5学年 岩下 和子 教諭 道徳科 「図書館はだれのもの」
- ・第6学年 岡村 澄人 教諭 道徳科 「ブランコ乗りとピエロ」

## II 成果と課題

### 1 成果

- (1) 今年度は「確かな学力育成プロジェクト」に関する研究と「特別の教科道徳」に関する2本柱で行った。それぞれに部会を作り、取り組み内容を明確化することにより、計画的に研究を進めることができた。また、2つの研究を関連付けながら進めることもできた。
- (2) 理論だけでなく、内藤先生の示範授業からも多くのことを学ぶことができた。さらには研究授業や一人一実践を通して、学んだことを生かした実践を積み重ねることもできた。
- (3) 昨年の課題であった評価の研究にも取り組むことができた。ポートフォリオとして継続的な評価を残すことで、子どもたち一人一人の変容や学びに対する見取りを行うこともできた。

### 2 課題

- (1) ポートフォリオについて、さらに改良を加えていけると良い。
- (2) 道徳科で学んだこと・感じたことを、道徳的実践力につなげていけるような指導を継続して行っていく必要がある。

(研究主任 岩下 和子)